

みみょう幼稚園だより



令和2年9月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

実り豊かな二学期に

コロナ対策、大雨対策と、一学期は、様ざまなご心配やご協力を頂きながら、何とかみんなで乗り越えることができました。多くの行事を中止や延期にしてきましたが、このような状況だからこそ、新しい発想や工夫によって、より豊かで楽しい活動にできたものも決して少なくはありません。初めて試みた広島市似島臨海少年自然の家でのお泊り保育も、天候にもぎりぎり恵まれ、海風と山の空気の両方に触れながら、充実した2日間を過ごすことができました。今後も、対策は継続していきます。急な予定変更の可能性もありますので、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

子育てはタイムリーに



令和3年度の園児募集を開始しました。今年からインターネットを活用したWEB出願を導入します。入園希望の皆さんに暗いうちから並んでいただく必要がなくなり、県外にお住まいの方の同日受付も可能になりました。これまでご不自由をお掛けした皆さんにも出願をしていただけるのではないかと思います。

さて、入園前の親御さんからのご質問の中で、最も多いのが、「まだ、オムツが取れていないのですが、大丈夫でしょうか？」というものです。皆さんはいかがでしたか？子どもたちの排泄習慣の習得状況は実に様々です。お家のお手洗いでは出来るが、外出先では難しい、大便是オムツにのみ、座っては出来るが、立ってはできない(男の子)、すべて出来るが拭くことはできない…。そんなみんなが、年中進級前には、おおむね一人でできるようになっていきます。幼稚園生活が始まると、あそびの前後に、お手洗いの時間を設定し、先生たちは、一人ひとりのおしっこの量や回数に応じた声かけをします。昼食後の声かけで、大便秘できるようになる子どももいます。タイミングを見計らって、オムツからトレーニングパンツに替えることで、成功体験を味わわせ、先生たちも子どもと一緒に達成感や自信をつけていきます。決してみんな同時に身につくものではありません。子どもたち一人ひとりの適切なタイミングに応じた働きかけが重要なのです。衣服の着脱にしても同様です。年中では、友だちとの関わりやあそびを通して、ルールを知るようになります。いっしょにたくさん遊ぶ中で、繰り返し困ったりぶつかったりしながら、ルールの必要性を理解していきます。年長になると筆箱や鉛筆を用意していただき、線あそびに挑戦します。その時点でかなが読めたり書けたりできるお子さんもおられますが、中には、鉛筆は持てるのに、おはしは使えないという逆転した姿が見られる場合もあります。手指の巧みさと、学びへの興味関心の双方が、ちょうどいい塩梅に連動できるタイミングは、一人ひとり違ってきます。読み書きや数字に触れる時間をもっと増やして欲しいとのご要望もありますが、書いたり読んだりできる環境をしっかりと整えておき、興味関心を持った時には、いつでも取り組めるようにしています。お友だちの言動もとても重要な刺激となっています。準備できた身体と、やりたい気持ち、出来る環境、そして、寄り添う大人が揃った時こそが、子どもがステップアップするタイミングです。決して急ぎすぎることなく、また、せっかくのチャンスを見逃すことなく、子どもたちの育ちを応援していきましょう。



「這えば立て、立てば歩めの親心」という言葉がありますが、小さな赤ちゃんにいきなり立って歩いて欲しいなどと望んだり鍛えたりする親御さんはいないでしょう。その子その子に応じた速さとタイミングで、丁寧に育ちの後押しをしていきたいものです。

園長 三上 玲子